

◆三十九番（小泉米造）（登壇） 議長のお許しをいただきまして、私、自由民主党改革、小泉米造が県政の課題五つにわたり質問をさせていただきます。

次に、リニア中央新幹線の駅を活用したまちづくりについてお伺いをいたします。私はこれまでも県議会において、リニア中央新幹線に関して、ルートや駅位置の設置についての考え方など、幾つかの質問をさせていただき、その都度知事から丁寧にご答弁をいただきました。先日、私のリニア中央新幹線に関する質問を聞いてくださった県民の方より、国の整備計画で奈良市附近と決定された駅の周辺に、国際会議場を整備し、国際会議や学会、展示会などを誘致することで、観光資源も豊富な本県へ国内外から多くの方々にお越しいただき、交流人口の増加などによって宿泊施設や交通アクセスの整備、雇用の創出を図るなど、リニア中央新幹線を活用して奈良の観光産業を中心に地域経済を活性化させるご提案をいただきました。その提案についてもあわせてご紹介したいと思いま

す。現在、観光資源の豊富な関西にあっても、ニュース性の高い大型の国際会議の開催回数は少なく、会議場への交通アクセスなど、会議の開催に適したインフラ整備がなされている横浜市や福岡市のほうが、国際会議の開催回数が多いのが現状であります。今後、リニア中央新幹線の開通に伴い、交通アクセスの向上が見込まれることから、海外や遠方から本県までの移動時間が短縮されますので、本県に大型の国際会議場を整備することによって、多くの滞在型の国際会議、学会、展示会などの開催が可能となりますので、交流人口の大幅な拡大が見込まれます。この交流人口の大幅な拡大によって、大きな経済波及効果を見込むことができ、地域経済が大きく発展することを提案理由として挙げておられま

す。議会での議論を通じて、多くの県民の方にリニア中央新幹線への理解と関心が高まり、さらに、リニア中央新幹線を活用した奈良県の未来の姿に思いをはせ、このようなご提言をいただいたことは非常にうれしく感激をしているところであります。私もこれまで以上に、リニア中央新幹線の建設促進のため、知事を先頭に全県一丸となって力強く取り組んでいきたいという思いを新たにしております。リニア中央新幹線については、JR東海が今年九月に環境影響評価準備書を公表し、この中で、東京ー名古屋間においてはルートや駅位置の詳細が示されました。しかし、名古屋より以西については、環境影響評価の手続きがすすんでいません。私は、名古屋を境にして、東側と西側でリニア中央新幹線の整備の進捗に大きな差があることを懸念しております。このような情勢を踏まえ、先月知事は、国土交通省などに対して、一、奈良市附近駅の早期確定及び駅着工、二、国の整備計画どおりの三重・奈良ルートでの早期実現とそれによる全線同時開業を、県議会や県内市町村長とともにご要望していただきました。これらの要望活動については、今後も引き続き力強く展開していくことは必要であります。

しかし一方で、先ほどの県民の方からのご提案にもありましたが、今後の奈良県のさらなる発展のため、早い段階からリニア中央新幹線を活用し、地域経済の活性化と県民が豊かになる方策を検討することは非常に重要であると私は考えております。ことし二月に私は、県議会の地域交通対策等特別委員会でリニア中央新幹線の沿線県である神奈川県と山梨県に調査に行きまわりましたが、その際、山梨県ではリニア中央新幹線の駅を活用したまちづくりについて検討している旨説明をいただきました。

そこで、知事にお伺いをいたします。現在本県は、国の整備計画どおり、リニア中央新幹線のルートや駅の早期確定を求めているところですが、今後、本県のさらなる発展のためにリニア中央新幹線の駅を活用したまちづくりや観光、産業振興などをどのように進めていこうと考えておられるのでしょうか。また、今後このような視点からどのように要望活動を展開していくのか、知事の所見をお伺いしておきます。

◎知事（荒井正吾）（登壇） 三十九番小泉議員から幾つかの重要な質問がございましたが、私に対しましては、地方消費税の問題と、リニア中央新幹線についてのご質問がございました。

第二問目は、リニア中央新幹線についての駅を活用したまちづくり、観光産業の振興などについてのご質問でございます。

リニア中央新幹線の駅を活用したまちづくりが極めて重要でございます。議員のご提案のお話は極めて重要な意義のあるご提案だと思います。鉄道はだんごのようでございますので、食べられるところは駅に相当するだんごでございます。串は食べられないものでございますので、駅は、極めて栄養が発生する、地域にとって大事な部分でございます。駅の活用、まちづくりは、長期的に検討が必要でございます。一朝一夕ににぎわいはつく

れないということですが、その位置が極めて大事でございます。発展する駅は、既存の鉄道や道路、ネットワークなどとの交通結節性がいいということが基本的条件だと思います。また、広く後背地があるということも大きな条件だと思います。現在までの駅の決められ方ですが、名古屋より東側ではことし九月の環境影響評価準備書で具体的なルートや駅位置が示されましたが、その前段階として平成二十三年九月に環境影響評価方法書がJR東海から公表されました。その中で既に三キロメートル幅の概略ルートの上に概略駅の位置が直径五キロメートル円で示されております。この五キロメートルの円が示されますと、駅の位置がおおむねわかってくるということでございます。このことをきっかけに、駅へのアクセスや周辺整備などの検討が進んだと聞いております。例えば、沿線の山梨県におきましては、平成二十五年四月にリニア中央新幹線駅の周辺整備に係る基本方針の策定に着手されております。岐阜県におきましては、リニア中央新幹線を活用した地域づくりの具体的なあり方について今年度中に取りまとめられる予定だと聞いております。

しかし、名古屋以西、名古屋—大阪間では環境影響評価方法書の提示すらまだなされておられません。今後、具体的なまちづくりなどの検討を進めるためにも、ルートや駅の位置がちゃんと確定されることが出発点になろうと思っております。本県といたしましては、三重県や両県の経済団体と連携して、環境影響評価の手續を名古屋—大阪間でも早急に着手していただき、環境影響評価方法書の公表につなげていただくことを国とJR東海に訴えておりますが、引き続き訴えていきたいと思っております。早く駅の位置が決まれば、駅を中心とした発展の姿は思い浮かぶものでございます。リニア中央新幹線の奈良県内の中間駅は、その整備の仕方、これまでの中間駅と比べ物にならないような威力を発揮することも不可能ではないと思っております。また、奈良県にとりましては、我々がこれまで経験したことのないような、想像もできない大きな発展の要素を含んでいるものだと思っております。これらの要素を思い浮かべながら、地域の振興の姿をイメージをつけていきたいと思っておりますが、いずれにいたしましても、駅の位置の早期確定が待ち望まれる状況になっておるわけでございます。県議会の皆様と力を合わせて奈良市附近駅の早期確定に力を尽くしていきたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

◆三十九番（小泉米造） 知事以下それぞれの部長さん、それぞれご答弁ありがとうございました。

リニア中央新幹線の問題で、提案といいますか、私のところに要望が来ましたのは、MICEという産業育成についての提案だったわけです。MICEというのは、私は何かなと思ったりしていたのですけれども、国のほうでことし六月十四日に閣議決定された日本再興戦略で、二〇三〇年にはアジアナンバーワンの国際会議開催国としての不動の地位を築くという目標が掲げられているわけございまして、その中で、奈良県に非常に関係すると思うのはユニークベニューという項目ですね。このユニークベニューというのは、ポテンシャルの非常に高い施設が多く存在するけれども、全国ではあまり活用されていない。ユニークベニューとは一体どんなものかといいますと、歴史的建造物や公的空間等で会議やレセプションを開催する、そういう会議であるらしいのですけれども、そういうことでございますので、時間がございませんので、この程度で終わりますけれども、一つそれだけ教えていただけないでしょうか。